

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第11号 平成23年4月29日

達脇3勝 深沢3打点でチームに貢献

3回の打者一巡攻撃で勝利を決めた！

	1	2	3	4	5	6	7	R
G	0	0	5	0	3			8
B	0	0	0	1	0			1



4/29(日) 今期春季区民大会1回戦の横浜バックドロップ戦を三ツ池公園野球場にて戦った。今日は序盤こそ、硬直した展開であったが、3回の打者一巡の攻撃で5点、更には、5回のダメ押し3点で追加し今日のゲームを勝利した。先発の達脇も終わってみれば、3四球を出したものの、1安打1失点の完投で今期4勝目を挙げた。そんな内容は、初回、たかあきの2ベースで先制のチャンスがあったが、ピクイニングは3回に訪れた。先頭は達脇、引っ掛けた打球は三塁前に転がる打球、これが野手の送球エラーを呼び出塁、続く智も逆方向へのバットイング、これは足が生き内野安打で出塁、続くたかあきの打球は、一二塁間にふらふらと上がった打球、これをセカンドがグラブに当てたものの捕球出来ずに無死満塁と絶好の大量得点のシーン、続く哲也は、初球を叩き、ショート強襲安打で三塁ライナーを返し先ずは1点、次打者は凡退したが、この時にWPが有り、2点目。続く打者はこーすけ。変化球にタイミング合わず、2ストライクと先行されたが、力を抜いたバットコントロールで三遊間を抜き、2者を返し2点追加。そして木村が四球で出塁し、場面は1死1・3塁の場面、ここで未だ波に乗り切れない深沢が、迷い無く初球を打ったその打球は、左越に見えたが、相手レフトが何とか捕球、しかし、これが犠牲フライとなり5点目をこの回に挙げた。5回には先頭の祐太郎が安打で出塁、続く打者も内野安打で無死1・2塁、後続は倒れたが、この場面に先程レフトに犠牲フライを上げ、気をよくしている深沢が打席に、「右方向の打球で絶対に走者を返す」と臨んだ打席は、ライトの横に放った右打ち、打球が芝でイレギュラーした間に結果3塁打となる安打で2走者を返し、また相手キャッチボールのミスの間に3塁から深沢がホームインし、3点を挙げた。4回に達脇が自身の四球と失策で1点を失ったが、6-4-3の綺麗な併殺でこのピンチを乗り切った。今日のゲームを振り返ってみると、先ずは、ゲーム前に姿勢として臨んだ、メンバーへの盛り上げ、叩くバットイングの意識の2つが出来たゲームであったと思う。どんなプレーでも賞賛し仲間を信じるベンチ一体は、今までに無い位の一枚岩に感じた。また、とにかく自身の満足感を出しすぎ、チームバットイングを疎かにし過ぎになるが、今日は、ポップフライが3つと叩く意識が出来ていたと思う。今日のベンチ一体感を常に保持し、これから対戦する強豪チームでも自分達の野球を行おう。自身を信じて、メンバーを信じて。野球はミスをするスポーツである。だから、それをチーム全体で補い戦うスポーツだから・・・